



国立公文書館	
分類	返 赤
配架番号	3 A
	14
	64-12

極  
秘

1 OCT 17  
Copy 1957

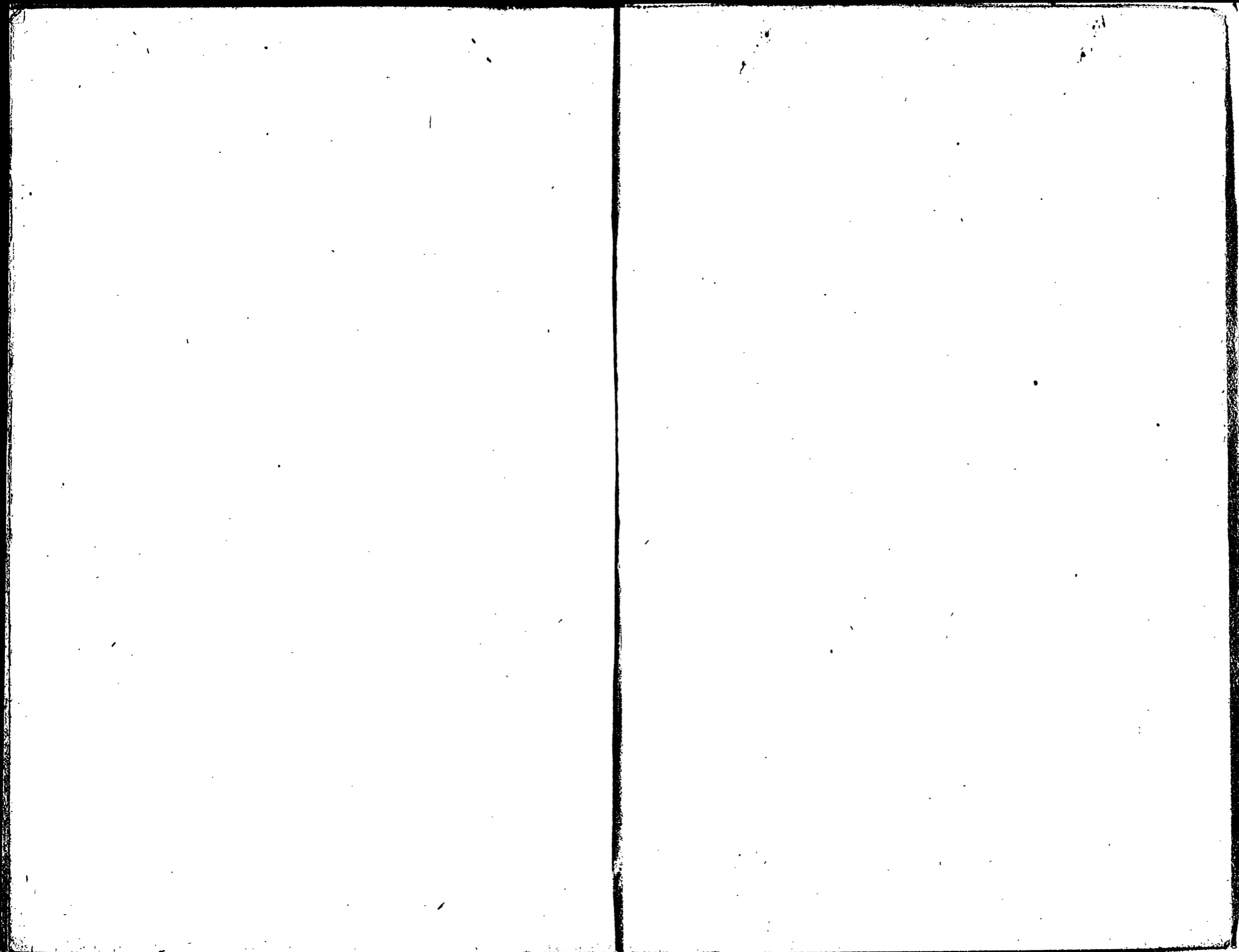
28153

国立公文書館	
分類	
配架番号	64-12

最近ニ於ケル泰國事情

WPC 72-0668

昭和十九年二月一日  
大本營陸軍部

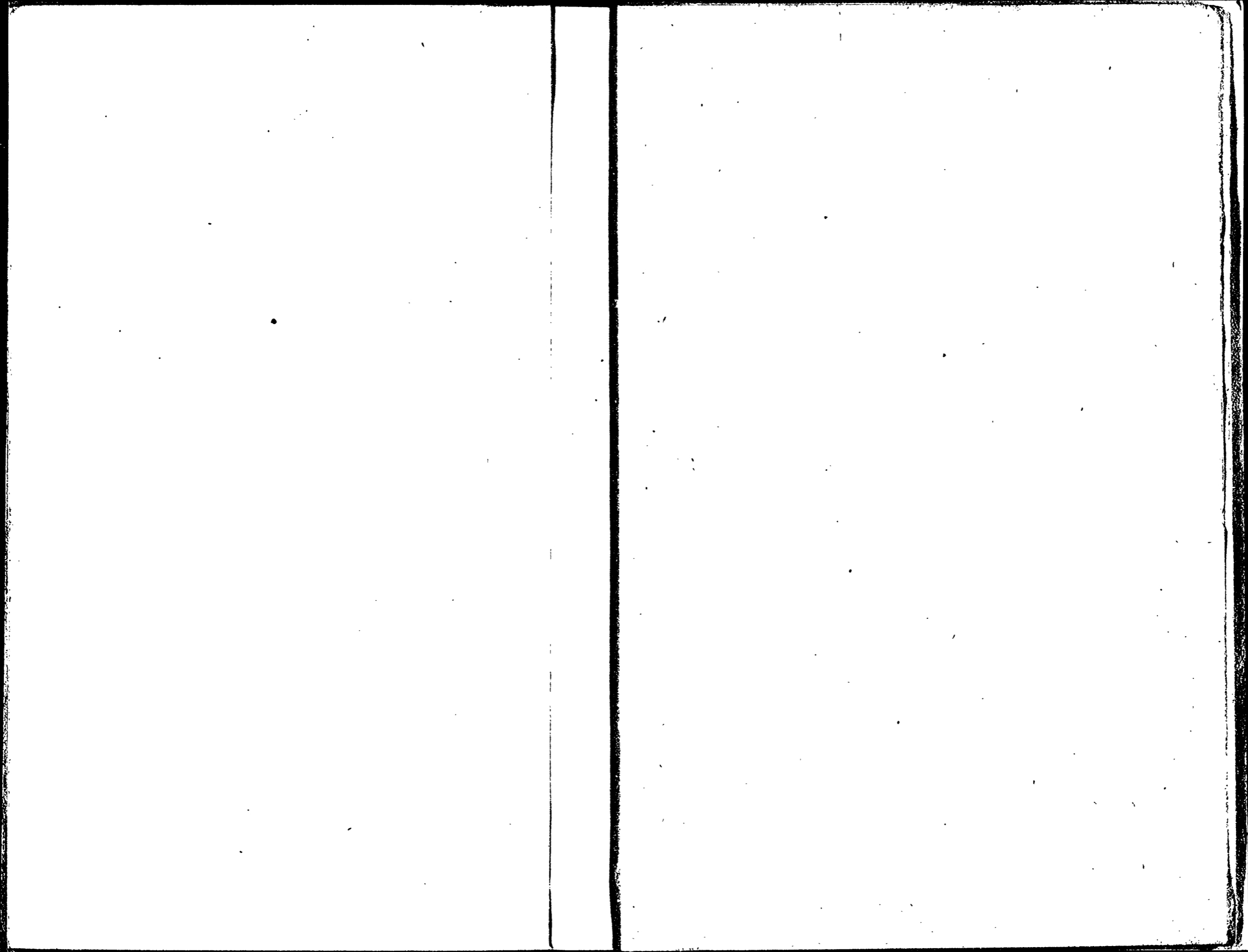


世界情勢ノ推移ニ伴フ敵側ノ宣傳謀略ハ泰國政界ヲ不安定ナラシメ戰局ノ將來ニ對シ疑懼ノ念ヲ懷カセシメアリ

(イ) 泰國陸軍總兵力ハ約八萬、空軍兵力ハ約一二〇(内第一線機約六〇)ニシテ海軍ハ二海軍區ニ編成セラレ兵力(砲艦六隻、驅逐艦三隻、水艦艇一一隻、潜水艦四隻)約五千ヲ有ス

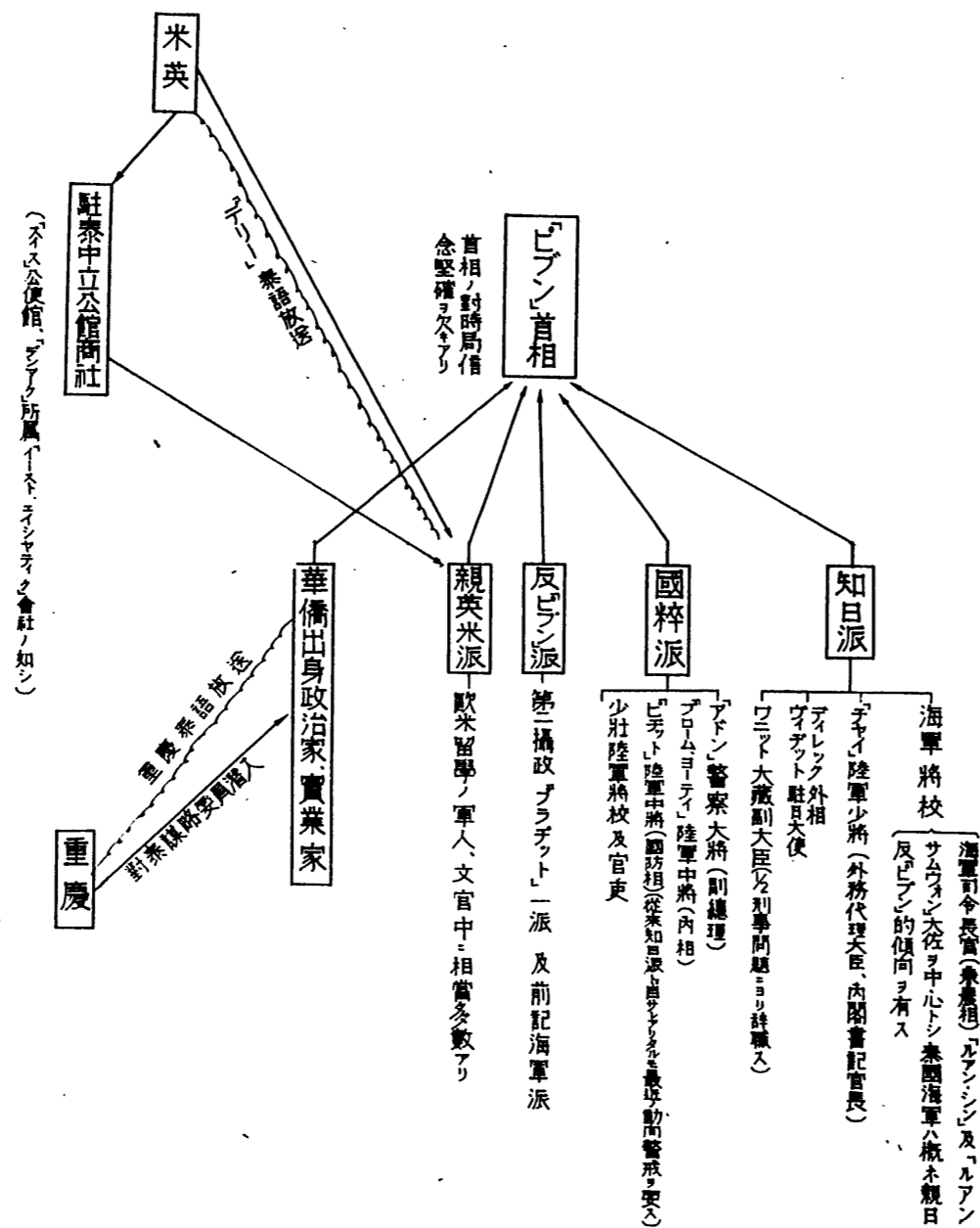
陸軍ノ配置、外征軍ノ概況竝ニ飛行場配置狀況ハ附圖第一、第二、第三ノ如シ(國防軍ノ戰時編成及陸軍部隊ノ平戰兩時ニ於ケル編成裝備ニ關シテハ附表第一、第二參照)

(ロ) 泰國政治機構竝ニ首腦者ハ附表第三ノ如クニシテ國內政情概見左表ノ如シ



# 表覽一情政内國泰

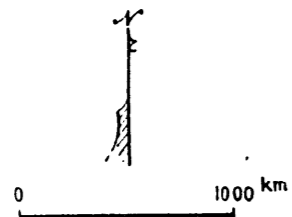
(日一月二癸九十相昭)



裏面白紙

(ハ) 泰國ノ對外動向左圖ノ如シ

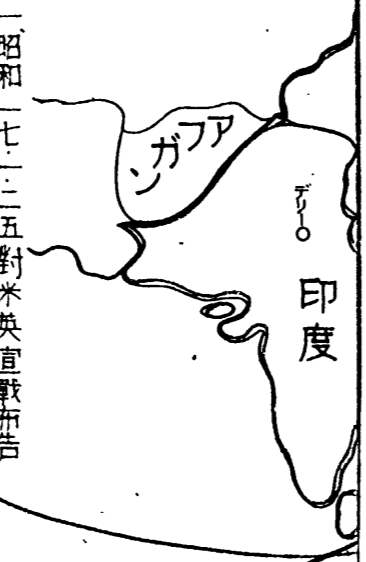
要圖



邦

- 一 昭和十七年五月對米英宣戰布告
- 二 一般國民對敵意識眞實ヲ
- 三 缺キ國內親英米派ハ敵少戦力ヲ
- 四 退信對日協力ヲ警戒アリ
- 五 最近ニ於ケル敵ノ官爆ニヨリ稍々敵機心昂揚ヲ見アリ

米英



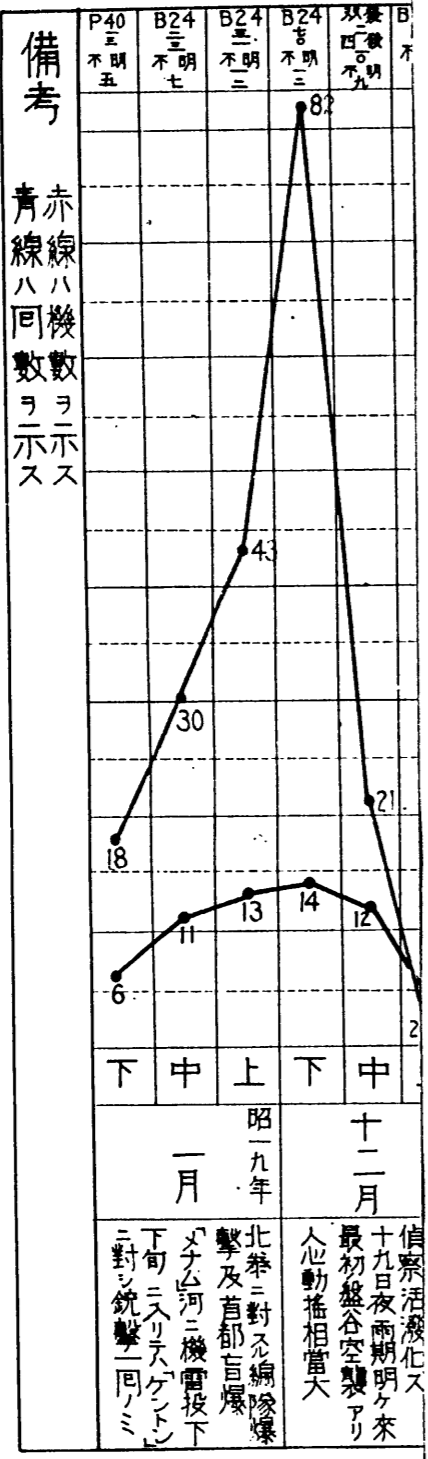
中立國

アスデンマーク等ノ駐米公館員及  
商社ハ敵國ノ爲ニ暗躍シタル疑濃厚  
ナルモ米政府公之ニ對シ特別ノ措置  
ヲ講ジテラス

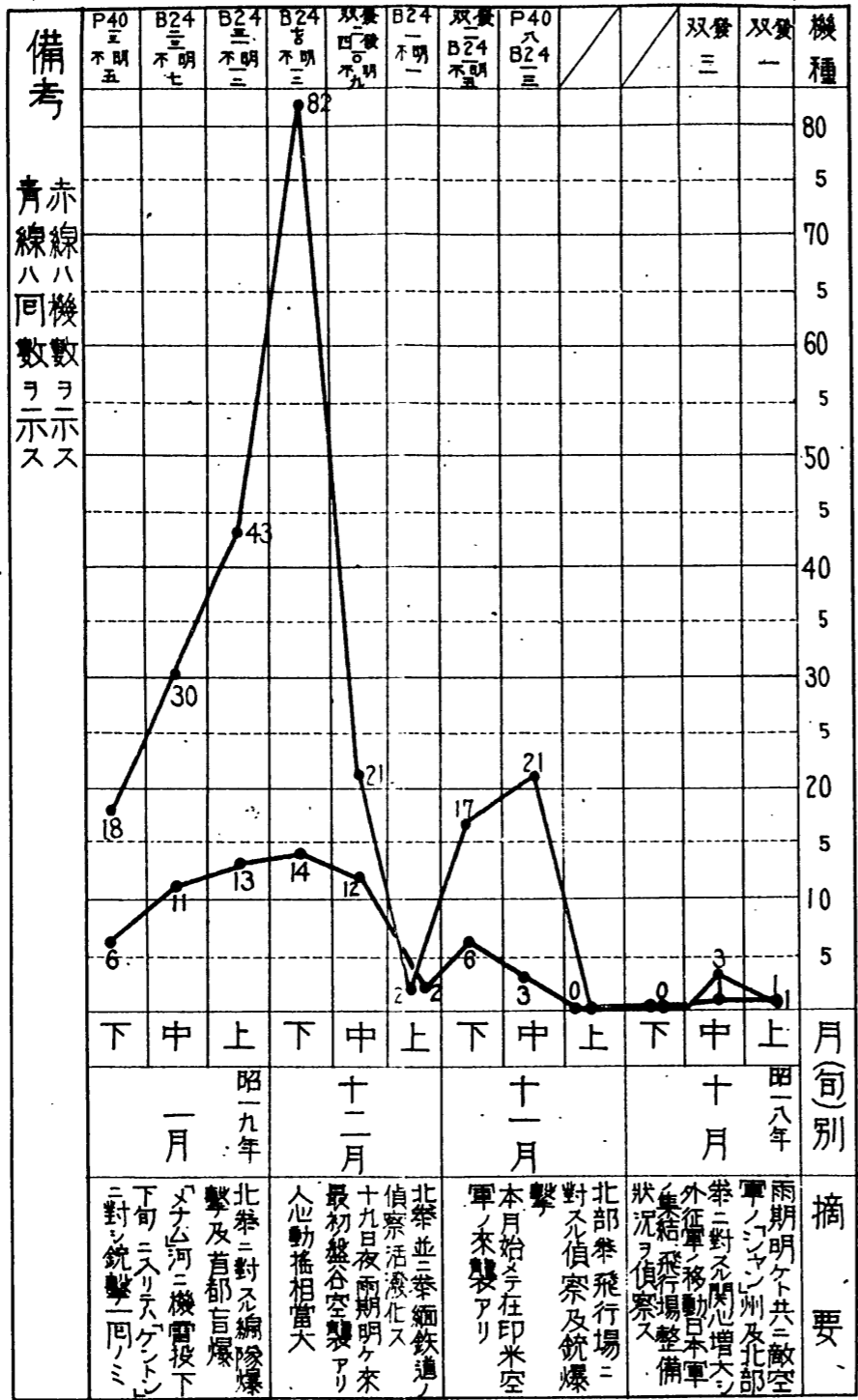




(三) 最近ニ於ケル敵機ノ來襲狀況ハ左表ノ如クニシテ北泰ニ於ケル我軍ノ集結狀況及泰緬鐵道ノ偵察ト  
都市爆撃ニ依ル謀略的效果トヲ企圖シアルガ如シ

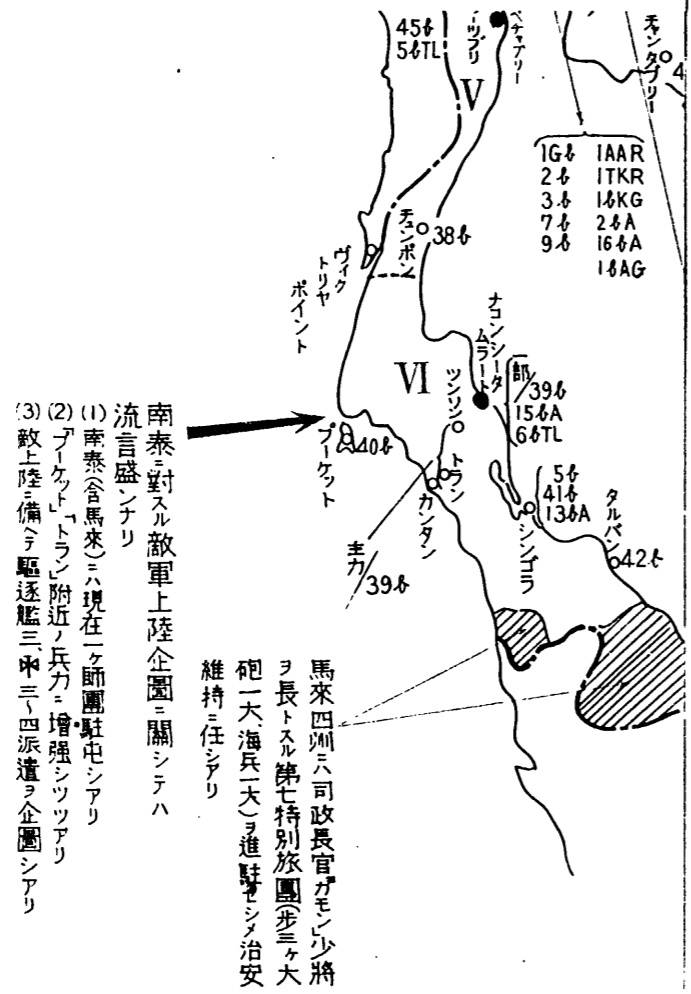


裏面白紙



最近ニ於ケル敵機來襲狀況表

(ホ) 泰國事情参考事項附圖第四ノ如シ



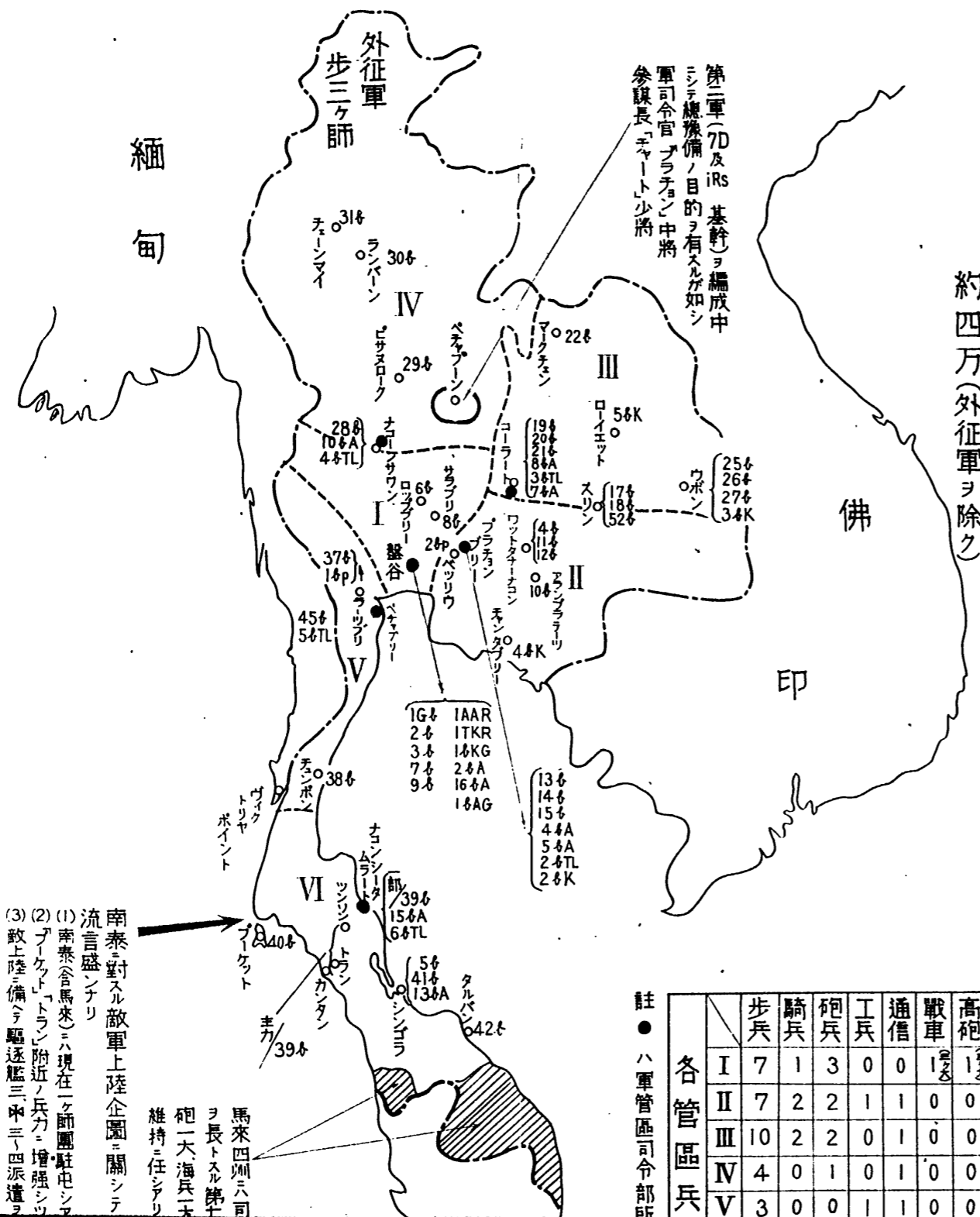


# 泰國國內軍兵力配置要圖

(昭和十九年二月一日)

附圖第一

泰國常備兵力  
約四万(外征軍ヲ除ク)



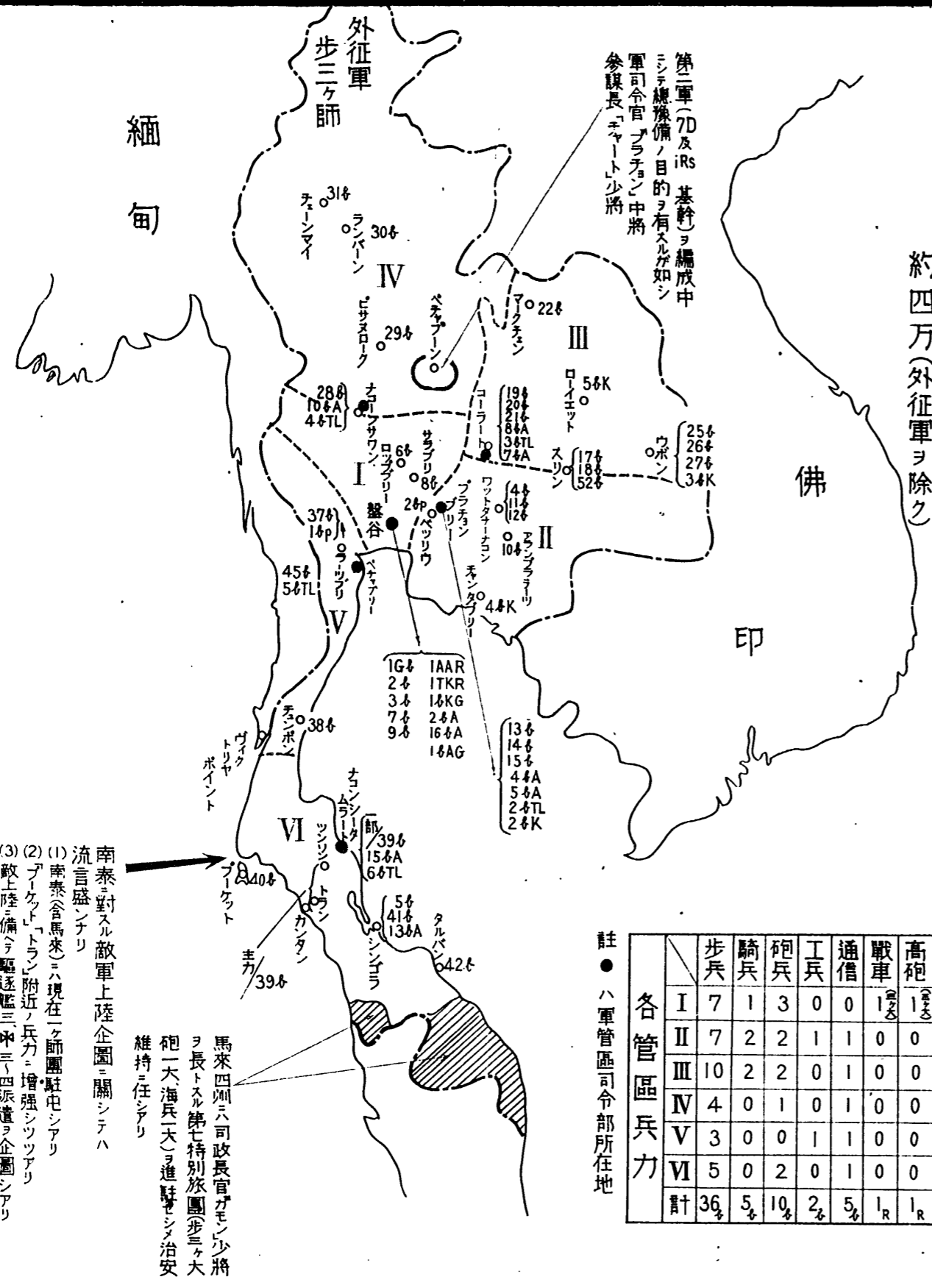
註●ハ軍管區司令部所

各管區兵	兵力						
	歩兵	騎兵	砲兵	工兵	通信	戦車	高砲
I	7	1	3	0	0	1	1
II	7	2	2	1	1	0	0
III	10	2	2	0	1	0	0
IV	4	0	1	0	1	0	0
V	3	0	0	1	1	0	0

- 南泰ニ對スル敵軍上陸企圖ニ關シテ  
流言盛ナリ
- (1) 南泰ニ對スル敵軍上陸企圖ニ關シテ  
流言盛ナリ
  - (2) フォークランドトラン附近ノ兵力ニ増強シテ  
敵上陸ニ備テ驅逐艦三ノ中ニ一ノ四派遣ス

馬來四州ハ同  
ヲ長トスル第  
砲一大海兵  
維持ニ任シテ

泰國常備兵力  
約四万(外征軍ヲ除ク)







# 泰國外征軍概見圖

(昭和十九年九月二日)

附圖第二

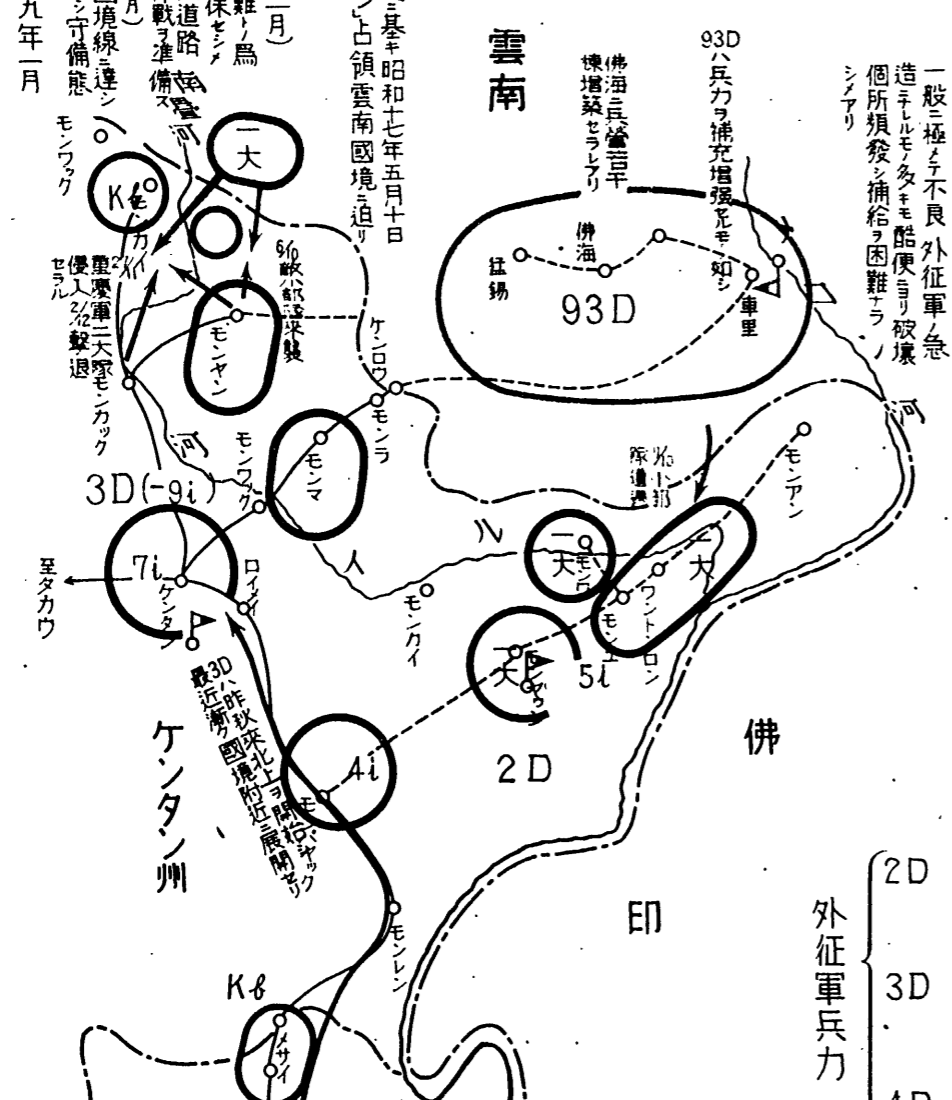
## 外征軍作戰經過

第一期作戰 日泰協同作戰協定を基き昭和十七年五月十日  
 作戰開始二十日「ケンタン」占領雲南國境に迫り  
 九モ兩期を為作戰中止ス

第二期作戰(昭和十七年六月一十二月)  
 マラヤ患者續出ト補給難ト爲  
 三Dヨシシルイ河ノ線ヲ確保セシム

第三期作戰(昭和十八年一月一六月)  
 改修並ニ補給ヲ好メ次期作戰ヲ準備ス  
 一月七日行動發起雲南國境線ニ達シ  
 九モ後國境委員ヲ染城ヲ施シ守備態  
 勢ヲ取ル

現狀 (昭和十八年七月一昭和十九年一月)  
 概テ下圖ノ態勢ヲ採ル  
 マラヤノ多發道路ノ不備補給機關ヲ貧困ニ依リ  
 戰備不十分ニシテ戰意低調動作緩慢ナリ  
 (現在使用可能車輛三〇内山地道通過スルモノ十數輛)



一 地勢  
 最高二千五百米程度ノ山嶽重疊シ人煙稀薄荒蕪不毛僅ニケンタン盆地ヲ飛躍ノ高山的存在ヲ云ニ過ギ  
 山嶽ハ灌木雜草等ヲ以テ覆ハレ徒歩部隊ノ行動困難ナリモ「ルイ」河以北ハ概テ密林ニシテ徒歩部隊ノ  
 行動至難ナリ河川ハ概テ溪流ヲナス

二 住民  
 人口二五万(ケンタン州 二五万)「シヤン」族「カレン」族ヲ主トシ前者ハ泰族ニ最も近ク佛敎ヲ信ス

三 氣象  
 兩期五月初ハ連日曇天「スコール」式ノ降雨少ク霖雨多ク乾期ハ十二四月  
 氣温ハ一般ニ日中ニ於テも爽快「ロイヤル」高地ニ於テ攝氏二八度夜間ハ氣温降下シ毛布ニ攻ヲ要ス

四 衛生  
 惡性「マラヤ」猖獗住民大部分ハ肝臟肥大シテ外征軍作戰開始以來將兵九五割ハ三同以  
 上罹病シテ後療法不徹底ナル爲其大部分ハ原蟲ヲ有スルモノト見做スコトヲ得  
 其ノ他特殊ノ風土病

五 道路  
 一般ニ極メテ不良外征軍急  
 造テレルモノ多クモ酷便ヨリ破壞  
 個所頻發シ補給ヲ困難ナラ  
 シナリ

外征軍兵力 ( )

2D	4
3D	5i
	7i
	8i
	9i
	12i
4D	13i

## シヤン州兵要地誌概要

シヤン州兵要地誌概要

一 地勢  
 最高二千五百米程度、山嶽重疊シ人煙稀薄荒蕪無毛、僅シケンタ州盆地ヲ飛彈ノ高山的存在ヲ認メ過キ  
 山嶽ハ灌木雜草等ヲ以テ覆ハレ徒歩部隊ノ行動困難ナリモ、ルイ河以北ハ概シ密林ニシテ徒歩部隊ノ  
 行動至難ナリ、河川ハ概シ溪流ヲナス

二 住民  
 人口二五万、ケンタ州 三万六千、シヤン族、カレン族ヲ主トシ前者ハ泰族ニ最近ク佛教ヲ信ス

三 氣象  
 雨期(五月初)ハ連日曇天、スコール式ノ降雨少ク霖雨多シ、乾期(十二、四月)  
 氣温ハ一般ニ日中ニ於テモ爽快(ロイヤル)高地ニ於テ攝氏二十八度、夜間ハ氣温降下シ毛布ニ被ラ要ス

四 衛生  
 惡性マラリアヲ猖獗住民大部分ハ肝臓肥大シテ外征軍作戦開始以來將兵九五割ニ同以  
 上罹病シテ後療法不徹底ヲ爲其大部分ハ原蟲ヲ有スルモト見做スコトヲ得

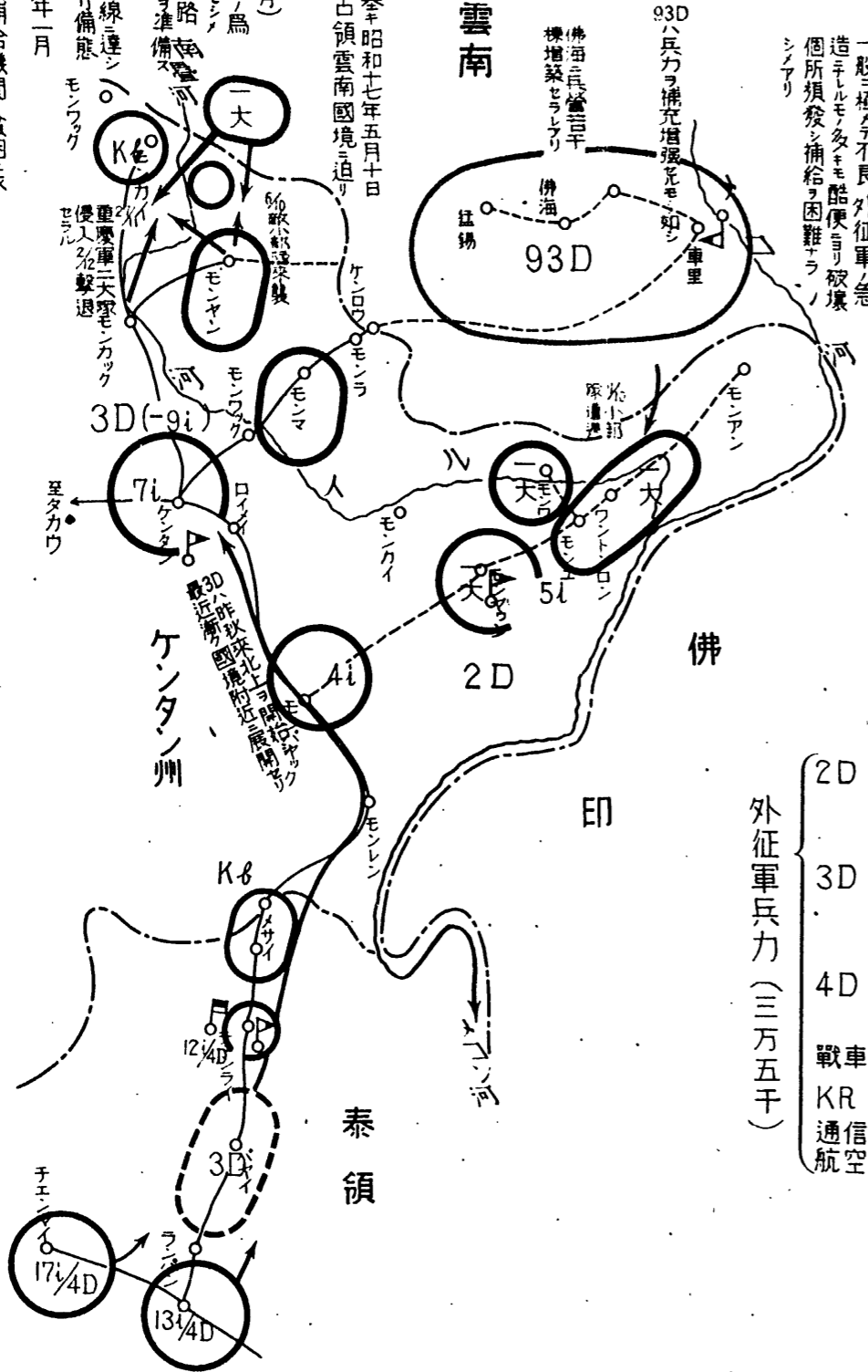
五 道路  
 一般ニ極メテ不良、外征軍ノ急  
 造テシルモ多キモ酷便ナリ破壞  
 個所頻發シ補給ヲ困難ナラシ  
 シナリ

外征軍兵力(三万五千)  
 2D — 4  
       — 5i  
       — 7i  
 3D — 8i  
       — 9i  
       — 12i  
 4D — 13i  
       — 17i  
 戦車隊  
 KR (3大)  
 通信隊  
 航空隊(戦偵36)

經過

日泰協同作戦協定ニ基キ昭和十七年五月十日  
 石二十六日「ケンタ州」占領雲南國境ニ迫リ  
 期ノ爲作戦中止ス

昭和十七年六月(十二月)  
 思者續出、補給難シ、馬  
 ルイ河線ヲ確保セシ、  
 限内ニ後退ス此ノ間道路  
 補給ヲ妨メ次期作戦ヲ準備ス  
 昭和十八年一月(六月)  
 行動發起雲南國境線ニ達シ、  
 境要點ヲ熱域ヲ施シ守備態  
 態ニシテ、  
 八十七年七月、昭和十九年一月

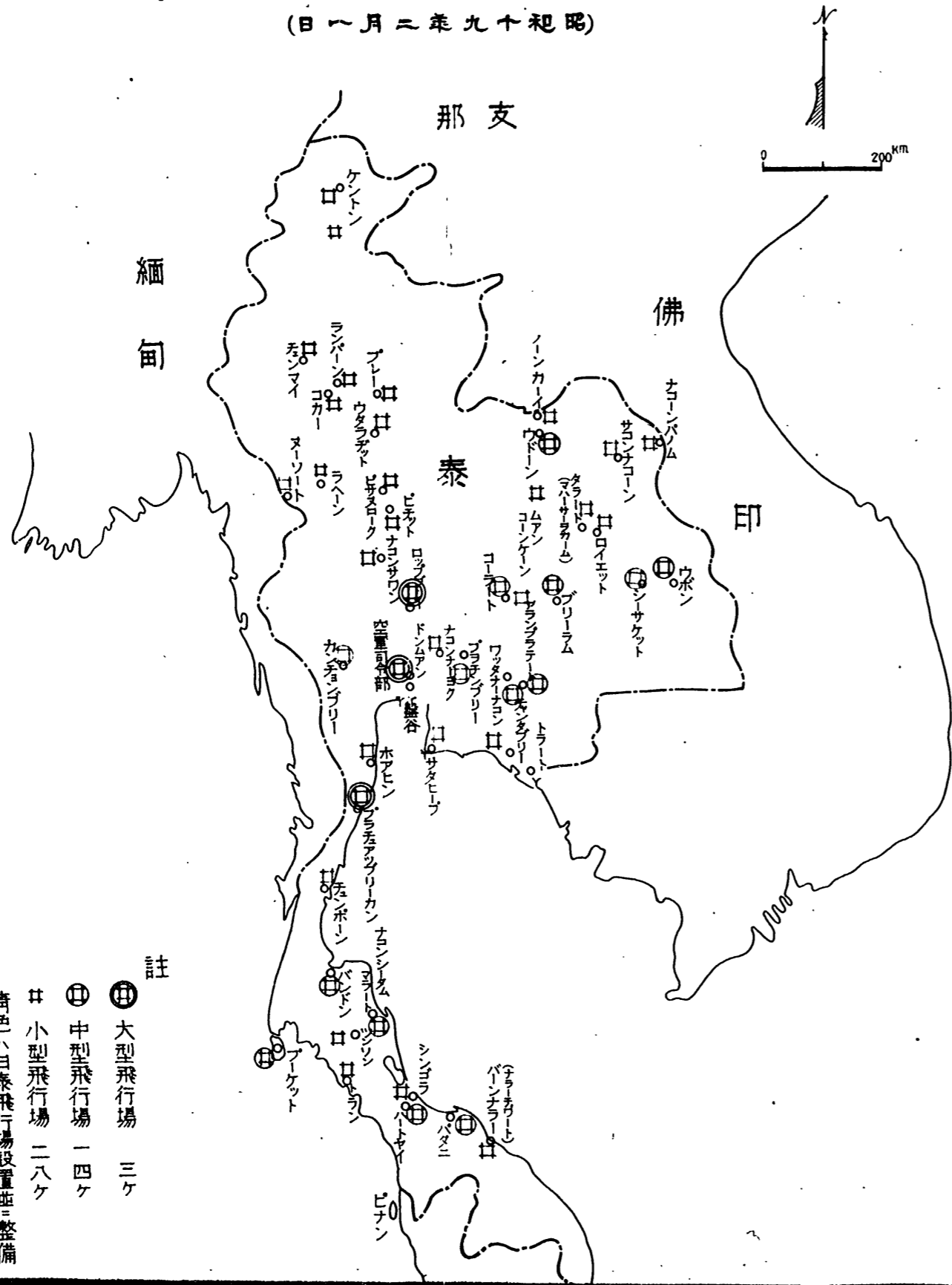




# 泰國飛行場配置要圖

(昭和十九年二月一日)

附圖第三



註

- 大型飛行場 三ヶ
- ⊙ 中型飛行場 一四ヶ
- ◻ 小型飛行場 二八ヶ
- 青色ハ日泰飛行場設置並ニ整備協定ヨリ指定セラレタル飛行場及日本軍使用飛行場

0 200 Km

緬甸

佛

印

泰

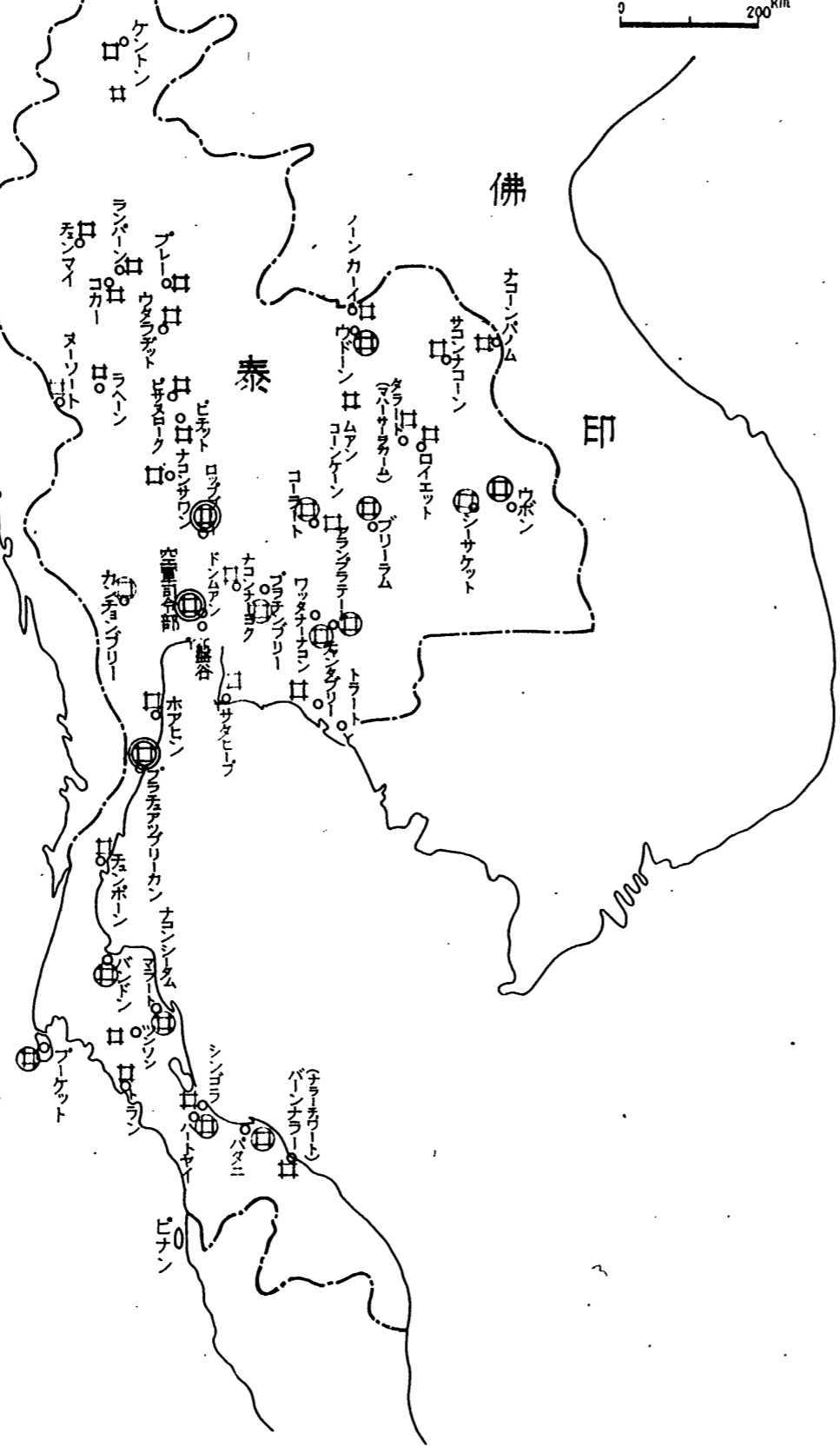
註

⊕ 大型飛行場 三ヶ

⊙ 中型飛行場 一四ヶ

⊖ 小型飛行場 二八ヶ

青色ハ日泰飛行場設置並ニ整備  
協定ヨリ指定セラレタル飛行場及  
日本軍使用飛行場

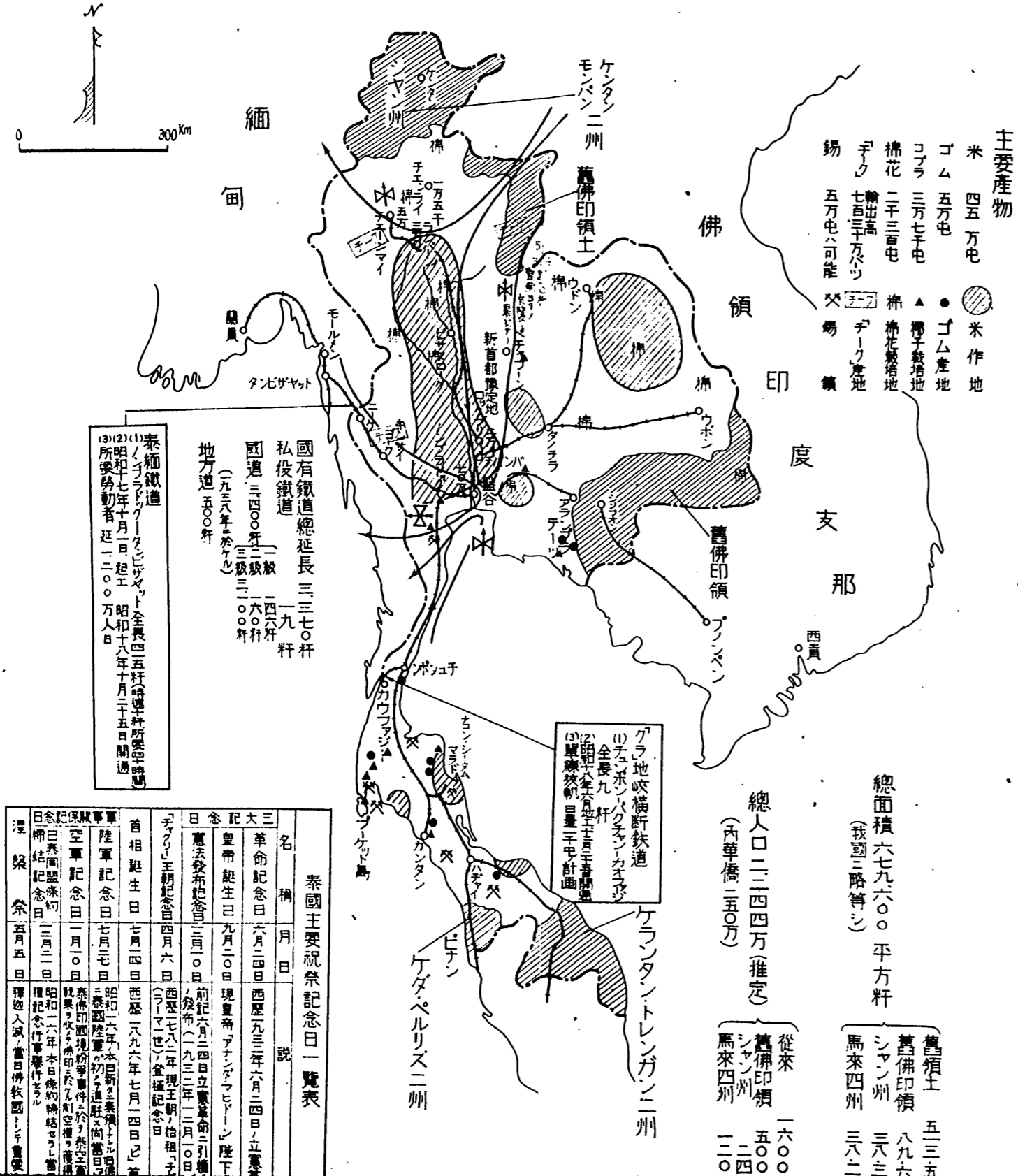


航空回圖



# 泰國事情參考要圖

附圖第四



- 主要産物**
- 米 四五万吨
  - ゴム 五万吨
  - コウ 三万七千屯
  - 棉花 二千三百屯
  - 錫 七萬三千九百噸
  - 手織 五万吨八可能
- 米作地  
● ゴム産地  
▲ 椰子栽培地  
△ 棉花栽培地  
□ チーク産地

**泰緬鐵道**  
 (1) 1907年(明治40年)全長四十五軒(約)開通  
 (2) 昭和十七年十月一日起工 昭和十八年十月二十五日開通  
 (3) 所費勢動者延二二〇〇万人日

**國有鐵道總延長三三三〇軒**  
 私役鐵道 一九六軒  
 國道 三四〇軒 一六〇軒  
 地方道 五〇軒 (一九三八年於今)

**アラ地峽横断鉄道**  
 (1) 全長九軒  
 (2) 昭和六年(一九三一年)五月開通  
 (3) 所費勢動者延二二〇〇万人日

總人口二二四万(推定)  
 (内華僑二五〇万)

總面積六七九六〇〇平方軒  
 (我國二略等シ)

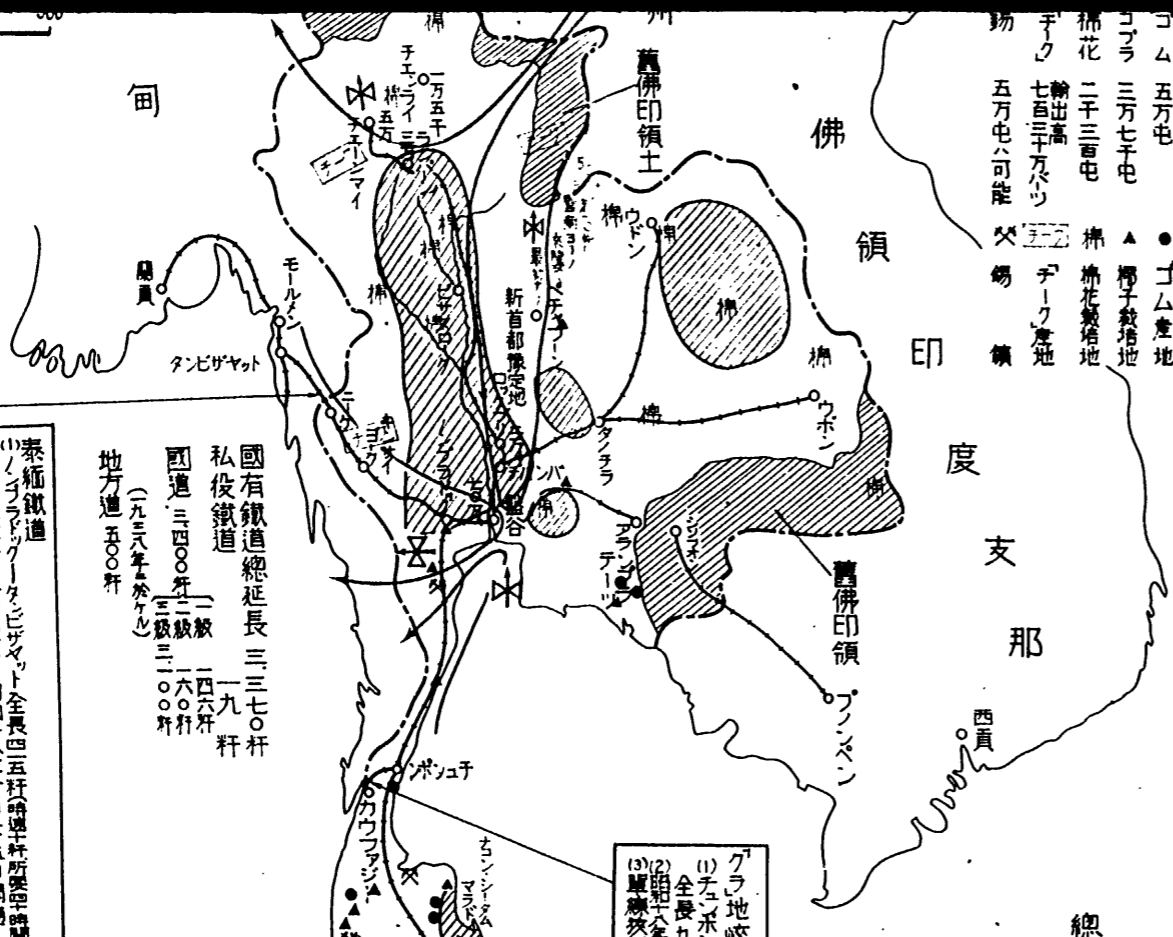
舊領土 五三三五  
 舊佛印領 八九六  
 シヤン州 三八三  
 馬來四州 三八二

從來 一六〇〇  
 舊佛印領 五〇〇  
 シヤン州 二二四  
 馬來四州 二〇〇

名	稱	月日	説
三	革命記念日	六月二四日	西歴一九三三年六月二四日、立憲
大	皇帝誕生日	九月二〇日	現皇帝(マハムヤドーン)陛下
記	憲法發布記念日	二月二〇日	前記六月二四日立憲革命の引續
日	王冠記念日	四月六日	西歴一九三二年現王(ワット)陛下
日	首相誕生日	七月二四日	(ラマセ)の誕生記念日
日	陸軍記念日	七月二七日	西歴一八九六年七月二四日、
日	空軍記念日	二月二〇日	昭和六年、本國新立憲後、
日	海軍記念日	二月二〇日	泰緬鐵道の初通、
日	泰緬鐵道開通記念日	十月二十五日	泰緬鐵道の初通、
日	泰緬鐵道開通記念日	十月二十五日	泰緬鐵道の初通、
日	泰緬鐵道開通記念日	十月二十五日	泰緬鐵道の初通、

主要産物

- 米 四五万屯
- ゴム 五万屯
- 椰子 三万七千屯
- 棉花 二千三百屯
- 輸出高 七百三十九万少
- 五万屯可能
- 米作地 ●
- ゴム産地 ▲
- 椰子栽培地 △
- 棉花栽培地 ○
- チーク産地 □



國有鐵道總延長 三三三〇杆  
 私設鐵道 一九六杆  
 國道 三四〇杆  
 地方道 五〇〇杆

泰緬鐵道  
 (1) 暹羅全長四五杆  
 (2) 暹羅全長二〇〇杆  
 (3) 暹羅全長二〇〇杆

總面積 六九六〇〇平方杆  
 (我國三路等シ)

總人口 二三四四万 (推定)  
 (内華僑 二五〇万)

舊領土 五三三〇〇平方杆  
 舊佛印領 八九六〇〇  
 シヤン州 三八三〇〇  
 馬來四州 三八二〇〇

從來 一六〇〇万  
 舊佛印領 五〇〇万  
 シヤン州 二四〇万  
 馬來四州 二二〇万

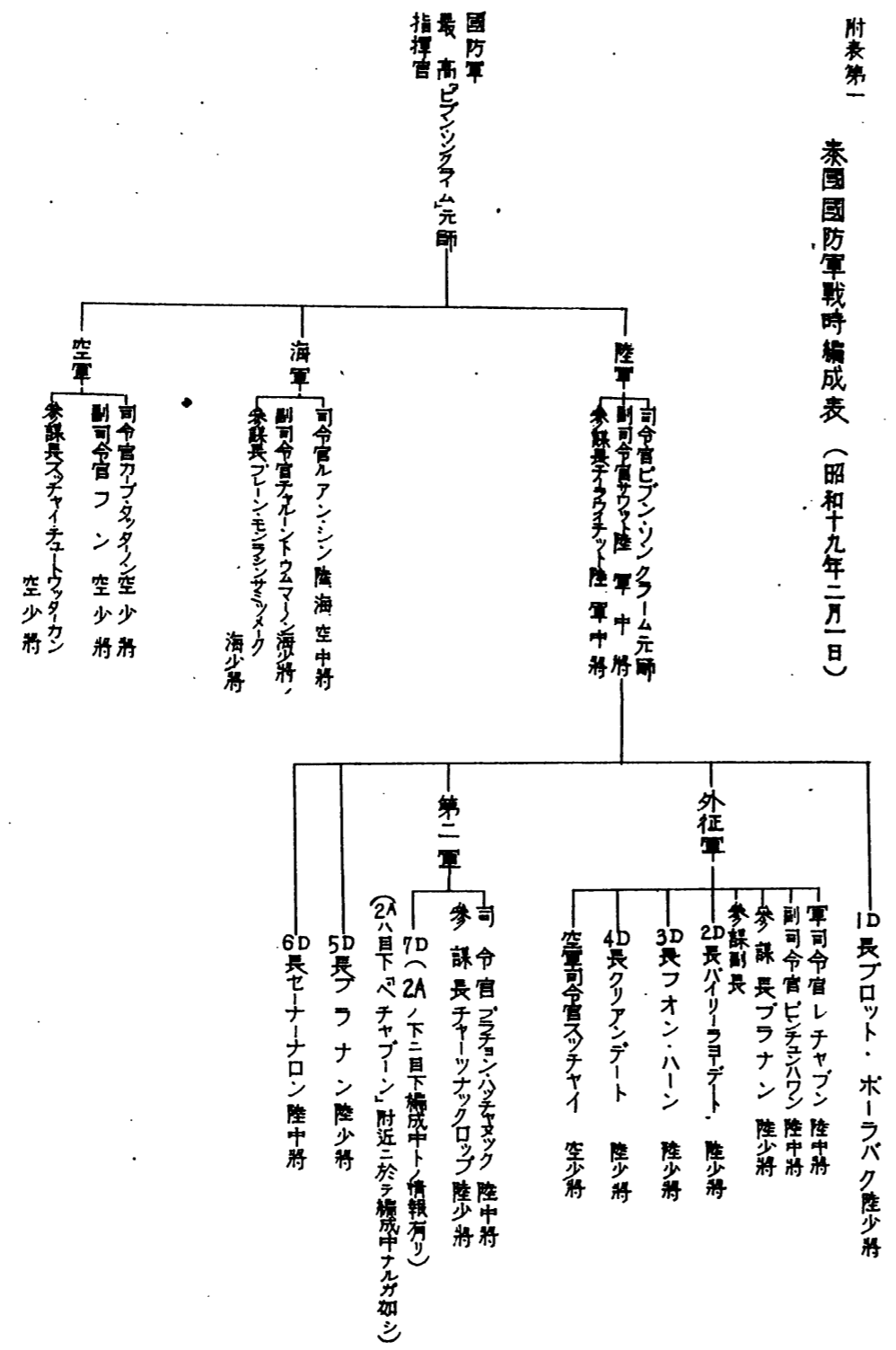
グラ地峽横断鉄道  
 (1) 全長九杆  
 (2) 全長九杆  
 (3) 全長九杆

ケララントレンガン二州

泰國主要祝祭記念日一覽表

名	稱	月日	説	明
三	革命記念日	六月二四日	西曆一九三三年六月二四日、立憲革命、記念スル日	
大	皇帝誕生日	九月二〇日	現皇帝、アヌマラシ、陛下、誕生日	
念	憲法発布記念日	三月〇日	前記六月二四日、立憲革命、三引續、イナ、起、實、セ、ル、現、憲、法、(一九三二年二月二〇日) 記念日	
日	王明記念日	四月六日	西曆一九一七年、現王、初、始、相、チ、ヤ、オ、ラ、マ、イ、ナ、タ、リ、(シマ、セ、) 宣、誓、記、念、日	
首	相誕生日	七月四日	西曆一九一六年七月四日、(シマ、セ、) 宣、誓、記、念、日	
陸	軍記念日	七月七日	昭和三十二年、本、日、新、憲、法、ト、シ、テ、佛、印、領、土、ラ、タ、ン、バ、ン、	
空	軍記念日	一月〇日	昭和三十二年、本、日、新、憲、法、ト、シ、テ、佛、印、領、土、ラ、タ、ン、バ、ン、	
日	泰緬協定日	三月二日	昭和三十二年、本、日、新、憲、法、ト、シ、テ、佛、印、領、土、ラ、タ、ン、バ、ン、	
日	泰緬協定日	五月五日	昭和三十二年、本、日、新、憲、法、ト、シ、テ、佛、印、領、土、ラ、タ、ン、バ、ン、	

附表第一  
 泰國國防軍戰時編成表 (昭和十九年二月一日)



裏面白紙





附表第三

泰國政治機構並三首腦者一覽表 (昭和十九年二月日現在)



裏面白紙

